

シンガポール・プレス・ホールディングス (SPRM)

非メディア分野が業績牽引の柱に成長、シンガポールと日本で高齢者ケア事業に注力、経営改革による業績回復へ

シンガポール | 出版 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SPH:SP | REUTERS SPRM.SI

- 2021/8期1H (2020/9-2021/2) は、総収入が前年同期比4.2%減、営業利益が同16.6%増、純利益が同26.1%増の減収増益だった。
- 主力のメディア事業は不振だったが、不動産投資に係る小売・商業施設事業、PBSA事業、高齢者ケアなどのその他事業は堅調に推移。
- 非メディア分野が業績牽引の柱に成長するなか、シンガポールと日本で高齢者ケア事業に注力。経営改革による業績回復が示された。

What is the news?

3/30発表の2021/8期1H (2020/9-2021/2) は、総収入が前年同期比4.2%減の4.60億SGD、営業利益が同16.6%増の1.19億SGD、純利益が同26.1%増の9,786万SGDの減収増益。メディア事業に係る新聞印刷広告の不振が減収に響いたが、学生寮・学生専用住居 (PBSA) 事業が堅調に推移したこと、総費用が同9.8%減の3.40億SGDとなったこと、関連会社や合併事業からの持分法投資利益の増加、および投資利益の増加が増益に貢献した。

1Hの事業セグメント別の業績は以下の通り。①メディア事業は、売上高が前年同期比23.9%減の1.93億SGD、税引前利益が同70.9%減の310万SGD。新聞印刷広告が前期比28.8%減収だったことに加え、昨年7月の子会社Buzz社の事業売却が減収減益に影響した。②不動産投資信託のSPHリートを通じた不動産投資に係る小売・商業施設事業は、売上高が同4.4%増の1.54億SGD、税引前利益が同1.4%減の8,630万SGD。豪ショッピングセンターのウェストフィールドマリオンとフィグツリー・グループに係る公正価値損失の一時的要因を除けば増益だった。2019年12月のウェストフィールドマリオンの買収が増収に寄与した。③PBSA事業は、売上高が同24.2%増の3,530万SGD、税引前利益が同18.3%増の2,240万SGD。2019年12月の英学生寮・キャッスル・ポートフォリオの買収が増収増益に貢献した。④高齢者ケア、デジタル、自己勘定投資などを含むその他の事業は、売上高が同16.9%減の3,410万SGD、税引前利益が同4.0倍の2,500万SGDだった。

How do we view this?

今回の決算で、非メディア分野の小売・商業施設事業とPBSA事業が業績を牽引する柱に成長したことが示されたが、従来の中核事業だったメディア事業もデジタルチャネルを通じた販売・サービスの拡大が期待される。また、その他事業における高齢者ケアでは、シンガポールのほか、高齢化先進国の日本でも北海道3カ所、奈良および東京で各々1カ所の合計5施設の高グレード施設を昨年3月に取得するなど海外買収案件に積極的に取り組むなか、今年2月末のシンガポールの高齢者介護施設のベッド稼働率は前半期末比3ポイント上昇の84%に達した。

新聞メディアを主な事業とする伝統的な大手新聞社が不動産投資を中心に事業の選択と集中を行う経営改革によって業績回復を果たしつつある点は、業界の先駆的事例として世界的に注目されよう。

業績推移

※参考レート 1SGD=82.08円

事業年度	2018/8	2019/8	2020/8	2021/8F	2022/8F
営業収益 (百万SGD)	982	959	865	850	786
当期利益 (百万SGD)	278	213	-83	92	139
EPS (SGD)	0.17	0.13	-0.07	0.04	0.08
PER (倍)	9.24	12.08	-	39.25	18.92
BPS (SGD)	2.12	2.16	2.06	1.99	1.95
PBR (倍)	0.74	0.73	0.76	0.79	0.81
配当 (SGD)	0.13	0.12	0.07	0.06	0.07
配当利回り (%)	8.28	7.64	4.46	3.82	4.39

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (SGD) **0.06** (予想はBloomberg)
 終値 (SGD) **1.57** 2021/5/10

会社概要

1984年設立のアジアを代表するメディア企業。主力のメディア事業のほか、不動産投資信託 (SPHリート) を通じた小売・商業施設事業、学生寮・学生専用住居 (PBSA) 事業のほか、高齢者ケア、デジタル、教育・イベント事業などを含むその他の事業を展開する。

①メディア事業は、新聞、雑誌、書籍を印刷版とデジタル版の両方で出版するほか、各種デジタル製品、オンライン求人広告、ラジオ局、屋外メディアなども所有する。

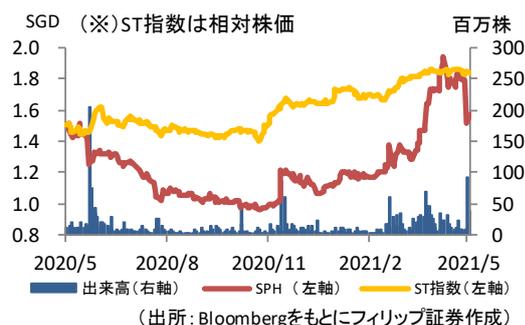
②小売・商業施設事業は、同社が約66%を所有するSPHリートを通じ、シンガポールの3つの不動産 (パラゴン、クレメンティモール、レイルモール)、およびオーストラリアの2つのショッピングセンター (フィグツリーグループの85%の株式、ウェストフィールドマリオンの50%の株式) を保有する。

③PBSA事業は、英国とドイツの学生寮・学生専用住居のポートフォリオの所有・管理・開発を行い、英国でスチューデント・キャッスルとキャピトル・スチューデントの2つの特徴的なブランドを運営。

④その他の事業では、シンガポールと日本の高齢者介護施設の所有・管理を行い、シンガポール最大の介護施設の1つであるオレンジバレーを所有する。

企業データ (2021/5/10)

ベータ値	0.82
時価総額 (百万SGD)	2,499
企業価値=EV (百万SGD)	6,683
3ヵ月平均売買代金 (百万SGD)	29.5



主要株主 (2021/5)

1. VANGUARD GROUP	(%) 2.54
2. ルカエー中央銀行	1.55
3. ブラックロック	1.10

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

シンガポール・プレス・ホールディングス (SPRM)

2021年5月11日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。